

はじめてのスペイン語講座

第18回 関係詞の使い方



HOLA みなさんこんにちは!

さて、今回は関係詞の使い方について見ていきます。

まず、「関係詞」って何でしょうか?文法などをみると、以下のような説明が書かれています。

関係詞とは:主節の中に存在するある語と従属節を結ぶ役割を果たすもの

ただ、実際に上のような説明を受けてもピンとくる方はなかなかいないのではないのでしょうか?「主節」?「従属節」?と、はてなマークが飛び交った方も安心して下さい!例を挙げながら少しずつ説明していきます。

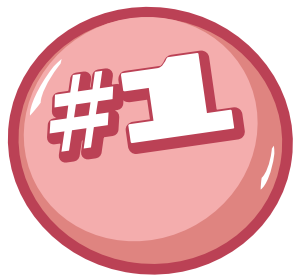
まず、今の段階では、焦らずに「関係詞を使うとより多くの情報を一つの文章の中で表現することができる。」とだけ、覚えておきましょう。

本文に入る前に、一つだけ理解しておいていただきたいのは、「関係詞」と一口に言っても、たくさんの種類があり、主に文章でのみ使われるものや、ある限定した場合にのみ使われるものもありますので、今回は、よく使われる代表的なものを選んでご紹介します。

① 関係詞《QUE》の用法

関係詞で最も良く使われるものに、queがあります。これは、物・事柄をさらに詳しく説明したり、限定したりする時に使われます。右下の絵を見て下さい。マリさんと彼女が飼っているワンちゃんがいいますね。彼女の愛犬の名前は、実は桃太郎くんと言います。関係詞queを使って、次の二つの情報をまとめてみましょう。

情報その1 マリさんは犬を飼っている。 } マリさんは桃太郎という名前の犬を飼っている。
情報その2 犬の名前は桃太郎である。



では、まず、情報その1を主節にします。主節というわかりにくいかもしれませんが、文章の中心になる主語と動詞が入った部分と考えましょう。

Mari tiene un perro.

主語 動詞 目的語

情報その2を文章にすると、次のようになりますね。

El perro se llama Momótaro.

これら二つの文章を上日本語のようにつけて一つにするためには、関係詞queを使います。

Mari tiene **un perro** **que se llama Momótaro.**
※この部分が従属節となる
桃太郎という名前の

この場合、un perroはque以下に直接つながる語で、先行詞と呼ばれます。que以下は従属節となり、マリさんが飼っている「犬(un perro)」をより詳しく説明する役割を果たしています。つまり、上の文章が言いたいことの中心は、「マリさんが犬を飼っている」という事実であり、どんな犬であるかの説明がque以下に表されています。わかりやすくするために、主節と従属節を逆にしてみましょう。今度は、情報その2が主節になります。

※この部分が従属節となる

El perro **que tiene Mari** se llama Momótaro. マリさんの飼っている犬は、桃太郎という名前だ。
マリさんが飼っている(犬)

なんとなく、イメージがつかめてきたでしょうか?関係詞que以下に続く部分(従属節)は、あくまでも先行詞を詳しく説明する役割に徹しているわけです。

さて、上の文章で、もう一点覚えていただきたいのは、従属節の主語と述語の位置です。はじめの文章は、文をqueでつないで重なっている部分(un perro)を取っただけなのに対して、二つ目の文は、que Mari tieneではなく、que tiene Mariと主語と述語の位置が逆転しています。従属節の動詞の目的語が先行詞となる場合には、通常que+動詞+主語の順番に逆転させることが一般的です。

② 《前置詞 + EL QUE》の用法

次は、以下のような二つの情報を関係詞を使って表してみましょう。

情報その1 マサオさんはミキちゃんのお隣に住んでいる。 } マリさんと一緒に働いているマサオさんは、
情報その2 マリさんはマサオさんと一緒に働いている。 } ミキちゃんのお隣に住んでいる。

日本語の文章から、主節になるのが、情報その1であることがわかります。

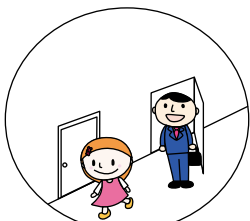
Masao vive al lado de Miki.

※前置詞 + el queを使う条件として、従属節のもととなる文章に前置詞がついていなければならない。

情報その2は、次のようになります。 **Mari trabaja con Masao.** この時は、「前置詞 + el que」で文章をまとめることができます。

Masao **con el que trabaja Mari** vive al lado de Miki.
※この《el》は先行詞に対応して変化するので注意。
マリさんが一緒に働いている(マサオ)

ただし、con el queのelの部分は、先行詞の性・数によってla, los, lasに変化します。



Masao con el que trabaja
Mari vive al lado de Miki.

マリさんと一緒に働いているマサオさんは、
ミキちゃんのお隣に住んでいる。

覚えましょう!

前置詞 + el queは、先行詞に対応して、
el que / la que / los que / las queの
いずれかに変化する。

また、《前置詞+ el que》の先行詞が、人である場合には、el queの代わりに、quienを使うこともできます。
左下の例をquienを使った文にしてみましょう。

※この《quien》も《el que》と同様に先行詞に対応して変化するので注意。

Masao con quien trabaja Mari vive al lado de Miki.

しかし、次の文章のように先行詞が人を表さない場合には、quienを使うことができません。

Voy a ver la película "Frozen" de la que todo el mundo habla bien. 皆が良いと言う映画、「アナと雪の女王」を見に行きます。

※先行詞《la película》が女性名詞・単数のため、関係詞は《la que》と変化する。

ちょっと長い文章になっているので、関係性がわかりにくいかもしれませんね。分解すると以下になります。

情報その1 Voy a ver la película "Frozen".

私は映画「アナと雪の女王」を見に行きます。

情報その2 Todo el mundo habla bien de la película.

皆がその映画のことを良いと言っています。

✦ Hablar bien de Alは、「Aのことを良く言う」。

APRENDE 覚えましょう!

前置詞 + quienは、先行詞の数にのみ対応して、quien / quienesと変化する。



Los chicos con quienes está hablando Mari son sus hermanos.

マリさんと話している男の子達は、彼女の兄弟です。

*余談ですが、「アナと雪の女王」のスペイン語タイトルは「Frozen: El reino del hielo」です。



③ 関係詞《DONDE》の用法

今日のレッスンで最後に勉強するのは、先行詞が場所の場合に使われる関係詞dondeです。

基本的な使い方は、①と②で見てきた関係詞と変わりませんが、②とは違って、dondeは先行詞の性・数に対応して変化することはありません。

それではまず例を挙げて説明していきましょう。

右下の絵を見てみると、黄色い建物が見えますね。これはミキちゃんが毎日勉強している学校です。この情報を使って以下のような二つの文章ができます。

情報その1 Este edificio amarillo es una escuela.

この黄色い建物は学校です。

情報その2 Miki estudia en la escuela todos los días.

ミキちゃんはその学校で毎日勉強します。

これらの文章のうち、情報その1を主節として文章を一つにまとめると、次のようになります。

※関係詞《donde》でつなぐことにより、上の文章の《en》が消えています。

Este edificio amarillo es la escuela donde estudia Miki todos los días.

この黄色い建物は、ミキちゃんが毎日勉強している学校です。

ここで、注目してほしいのは、情報その2の文中にある、en la escuelaのenが消えてしまったことです。通常、関係詞dondeが使われる場合には、従属節となるもとの文章の中にen + 場所が出てきますが、dondeでつなぐことにより、enは消えてしまいます。

※《en》は必ず取ること!!

✗ Este edificio amarillo es la escuela en donde estudia Miki todos los días.

ただし、②で出てきた《前置詞 + el que》を使えば、enを残すことができますので、覚えておきましょう。

Este edificio amarillo es la escuela en la que estudia Miki todos los días.

形は変わりますが、dondeを使っても、en la queを使っても、ほとんどの場合、文章の意味に変化はありませんので、言いやすい方を使ってください。

今回は、いろいろな関係詞が出てきましたね。難しいですが、覚えるためには実際に文章の中で使ってみることが大切です。頑張ってください!



Este edificio amarillo es la escuela donde estudia Miki todos los días.

この黄色い建物は、ミキちゃんが毎日勉強している学校です。



un descanso....

《場所を表す先行詞 + donde》

③では、先行詞が場所を表す語の場合、次の例のようにdondeを使うことを勉強しました。

- Voy a cenar en el restaurante donde trabaja mi amigo.

(私は、友達働いているレストランで夕食をとるつもりです。)

上の文章のもとになった二つの情報は以下の通りです。

1. Voy a cenar en un restaurante. (私はレストランで夕食をとるつもりです。)

2. Mi amigo trabaja en el restaurante. (そのレストランで、友達働いています。)

ここで2の従属節となる文章に注目すると、先行詞となる語 el restaurante の前には en があります。関係詞 donde が使えるのは、原則としてこの en が存在する場合のみと覚えてください。

次のように、2の文章に en が無い場合、つまり、場所を表す語が従属節となる文章の主語または目的語となる場合には、関係詞 que を使わなければならないというルールがあります。

1. Voy a cenar en un restaurante. (私はレストランで夕食をとるつもりです。)

2. El restaurante es muy caro.

※この場合 el restaurante が主語となる。

これらを一文で表す場合は、以下の文章の関係詞 que を使わなければならないので、どちらの関係詞を使うべきかしっかり見極められるようになりますように!

- Voy a cenar en el restaurante que es muy caro.

(私は、そのとても高いレストランで夕食をとるつもりです。)

イラスト：田中文字子



スペイン語

ADELANTE

www.adelante.jp

- ・一般・旅行・商業・DELE検定対策・プライベートなど目的やペースに合わせて選べるコース
- ・ネイティブ講師だからプチ留学気分
- ・自然なスペイン語がマスターできる!
- ・振替ができるので忙しくても安心!
- ・月謝払いOK!
- ・無料体験レッスン、教室見学等☆随時受付中

スペイン語教室 ADELANTE

〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-8 千代田ビル西別館2F

TEL: 06-6346-5554 ・ FAX: 06-6110-5122

E-mail: info@adelante.jp ・ http://www.adelante.jp